

## 令和3年度 第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時 令和3年11月18日（木） 10時から

2. 開催場所 勝浦市役所 4階 大会議室

3. 出席者

【委員】別紙のとおり

【事務局】勝浦市企画課長（高橋） 政策推進係長（渡邊）

4. 会議次第

1. 開 会

2. 報 告

（1）予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）利用者アンケートの結果について

3. 議 題

（1）勝浦市地域公共交通計画の策定について

4. その他

5. 閉 会

5. 概 要

（事務局・高橋）

皆さんおはようございます。定刻より少し早いですけれども、ご出席の皆さんお揃いになりましたので、ただ今より、令和3年度第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。私、勝浦市企画課の高橋と申します。宜しくお願いいたします。

始めに、資料の確認をさせていただきます。

「会議次第」「委員名簿」「座席表」「予約制乗合タクシー利用者アンケート結果」「地域公共交通計画の策定について」以上となります。お手元にごございますでしょうか。

次に、本日、出席いただきました委員の皆様の紹介でございますが、座席表に記載のとおりでございますので、これにてご了解いただきますようお願い申し上げます。

また、前回会議に引き続き、本日、エミタスタクシー南総㈱の親会社に当たりますエミタスタクシー㈱より、今後の本地域における事業の参考とするため、本会議に出席したいとの連絡があり、会長に確認したところ了承が得られましたので、協議会設置規約第八条の規定により、オブザーバーという形でお二人ご出席いただいております。よろしくお願いいたします。

次に、本日の出席者数について報告いたします。委員総数19名のうち、出席者数は17名です。うち代理出席者3名となっております。欠席委員2名より委任状を提出いただいております。委員総数の過半数に達していることをご報告いたします。

次に、本会議につきましては、原則公開としておりますが、現在のところ、傍聴の申出がございませんことをご報告いたします。

私の方からは以上でございます。これより議事に入りますが、進行につきましては、当協議会の会長の竹下副市長にお願いいたします。会長よろしくお願い致します。

（会長・竹下）

みなさんおはようございます。副市長の竹下でございます。本日は朝早くから公共交通活性化協議会の会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、皆様方には日頃から市政の発展にご尽力を頂けておりますこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。それでは早速会議に入りたいと思います。着座にて失礼させていただきます。

本日の会議は、次第書に記載のとおりでございまして、まず、報告事項といたしまして、「予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）利用者アンケートの結果について」でございます。

また、議題といたしましては、記載のとおり「勝浦市地域公共交通計画の策定について」をご審議いただくこととなっております。

それでは、まず、報告事項でございます「予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）利用者アンケートの結果について」事務局より説明をお願いいたします。

（事務局・渡邊）

企画課の渡邊と申します。よろしくお願いいたします。座って説明をさせていただきます。それでは、予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）利用者アンケートの結果について報告をさせていただきます。資料は別冊のものになります。お手元にご用意ください。

最初にアンケート調査の概要について説明いたします。

調査対象は、令和2年度中にデマンドタクシーを利用したすべての方です。

調査時期は、令和3年7月から8月です。

調査方法は、アンケート用紙の郵送による発送・無記名による回収です。

回収状況は、配布数114人に対して、回答数75人、回収率65.8%です。

調査項目は、

設問1. あなたの年齢は？

設問2. デマンドタクシーをどのように知りましたか？

設問3. 家族に自動車をお持ちの方はいますか？

設問4. あなたは自動車の運転免許証をお持ちですか？

設問5. デマンドタクシーの利用頻度は？

設問6. 「行き」は何便を利用することが多いですか？

設問7. 「帰り」は何便を利用することが多いですか？

設問8. 目的地はどこが多いですか？

設問9. 追加して欲しい共通乗降場所がありますか？

設問10. 運行日（月～土曜日）に満足していますか？

設問11. デマンドタクシーの不満点は何ですか？

設問12. 予約センターや運転手の対応に満足していますか？

設問13. デマンドタクシーの運行について総合的に満足していますか？

最後に、自由意見となっております。

それでは、設問ごとに説明をさせていただきます。

設問1. 利用者の年齢層ですが、10代が1人、20代が1人、30代はナシ、40代が2人、50代が4人、60代が5人、70代が13人、80代が47人、90歳以上が2人となっております。割合で申しますと、70代以上の方の利用が約83%で、利用者の大半を高齢者が占めていることが分かります。

設問2. デマンドタクシーをどのように知ったかですが、ホームページが1人、パンフレ

ットが3人、家族・知人が14人、広報が34人、説明会が19人、回答無し4人でした。広報や家族・知人からが多い結果ですが、利用者の年齢層との相関関係が強いと考えます。

設問3. 家族の自動車の所有状況ですが、「いる」が35人、「いない」が39人となっており、半数以上の方が自動車を所有している家族がいないと回答しております。また、自動車を所有する家族がいる場合でも、日中時間帯はお仕事などで移動手段として利用できないものと推測されます。

設問4. 運転免許証の保有状況ですが、「持っていない」が48人、「持っている」が10人、「返納した」が16人となっており、「持っていない」「返納した」を合計して64人・およそ87%の方が運転免許証を保有していない状況となっております。

設問3とのクロス集計を行った結果、家族が自動車を所有しておらず、本人が運転免許証を「持っていない」または「返納した」と回答した方は28名で、およそ38%の方が「世帯」として自家用車による移動手段を持たないと推察されます。

設問5. デマンドタクシーの利用頻度ですが、「これまでに数回」が22人、「年に数回」が15人、「週に1回程度」が21人、「週2〜3回」が9人、「週4回以上」が2人となっております。

「週1回程度」「週2〜3回」「週4回以上」と回答した方が合計32人であり、約4割の方がデマンドタクシーを移動手段として日常的に利用されていると推測されます。

設問6から8は併せて説明いたします。

設問6. 「行き」で利用することが多い便ですが、2便の利用が最も多く、次いで1便という結果であり、利用の多くが午前中に集中しているのが分かります。

設問7. 「帰り」で利用することが多い便ですが、3便が最も多く、次いで4便、5便の順で続いています。

設問8. 目的地についてですが、「病院・診療所」が55件と最も多く、次いで「商業施設」「公共施設」の順となっています。特に、70代以上の多くは病院・診療所を目的地としていることが分かります

これらのことから、1便・2便で病院や買い物等の用事のために来て、3便・4便で帰るといった利用状況がうかがえます。

設問9. 共通乗降場所として追加してほしい目的地ですが、「ある」が7人、「ない」が50人、「無回答」が18人となっており、概ね現在の共通降場場所に満足いただいているものと考えますが、「ある」と答えた方で具体的には、農産物直売所やコンビニなどがございました。これらについては運行をお願いしている小湊鉄道さんとも協議してまいりたいと考えております。

設問10. 運行日に対する満足度ですが、「満足」または「やや満足」と回答した方が42件（56%）であり、「不満」または「やや不満」と回答した方の合計12件（16%）を上回っており、概ね満足していることがうかがえます。

目的地として最も利用の多い「病院・診療所」が日曜日に診療を行っていないためと考えられますが、この後出てきますが、一部日曜日の運行を望む声もありますので、引き続き検討してまいります。

設問11. デマンドタクシーの不満点ですが、「予約が面倒」が最も多く、次いで「便数が少ない」「最終便が早い」という結果でありました。また、この3項目については、各年代において偏り無く不満と感じていることがうかがえます。

予約制の運行にすることで路線運行より効率的に運行できていると考えておりますので、予約自体はなくせないと考えておりますが、予約の受付可能時間や予約方法については、運

行事業者とも協議のうえ利用者の利便性向上についても検討してまいりたいと考えております。また、その他の自由意見も参考にしていきたいと思います。

設問12. 予約センターや運転手の対応に対する満足度ですが、「満足」または「やや満足」と回答した方が42件（56%）であり、「不満」または「やや不満」と回答した方の合計12件（16%）を上回っており、概ね満足していることがうかがえます。具体的な意見をいただいておりますので、運行事業者とも共有し改善していけたらと考えております。

設問13. デマンドタクシーの運行に対する総合的な満足度ですが、「満足」または「やや満足」と回答した方が40件（53%）であり、「不満」または「やや不満」と回答した方の合計10件（13%）を上回っており、半数以上が満足していることがうかがえます。具体的な意見もいただいておりますので、こちらも参考にさせていただきたいと思っております。

設問14. お気付きの点やご提案等を自由に記載していただきました。

前半が不満に思っている点、改善して欲しい点、後半が満足している点、ありがたく思っている点を記載いたしました。

改善して欲しい点といたしまして、運行時間の延長、日曜の運行、便数の増加、運行区域の拡大、予約方法の改善の希望などがありました。

利用の状況や改善要望の声など今回のアンケート結果、また、この後議題となっている地域全体の公共交通のあり方について検討していく中で、よりよい公共交通の実現を図って参りたいと考えております。

以上で、予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）利用者アンケートの結果について報告を終わります。

（会長・竹下）

ありがとうございます。ただ今、アンケートの結果について事務局より説明がございましたが、なにかご意見、また、ご質問等がある方はお願いいたします。

（成田委員）

一点お願いします。千葉県バス協会の成田と言います。大変、利用者アンケートの詳細な説明ありがとうございました。大変このデマンドタクシーが期待されているということが分かりました。ひとつ、ご予定があればお聞きしたいのですが、昨年度の利用されたすべての方114人に調査をして75人から回答が来たということでございます。参考として聞かせていただきたいのは、利用した方以外の方に予約制乗合タクシーについてどうお考えになってるかというアンケートみたいなのをやる予定があるのかどうか、何かそういう、今使っていない方がですね、この乗合タクシーをどう思っているのか、その辺の意向を確認するようなことの取組はお考えになっているのか、これについてお話しいただければと思います。

（事務局）

ご指摘のとおり、このアンケートについては利用者を対象に実施したものでございますが、同時期にですね、広報を通じて利用していない方についてもご意見等あればお寄せくださいという形で募集をかけました。これについては残念ながら意見等はお寄せいただけなかったので今回の結果からは省かせていただいております。以上でございます。

（成田委員）

分かりました。結構です。

(会長・竹下)

他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ご質問等がないようでございますので以上で報告は終わらせていただきます。  
続きまして、議題の方に移らせていただきます。「勝浦市地域公共交通計画の策定について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

説明いたします。勝浦市地域公共交通計画の策定について説明いたします。

まず、前提といたしまして、現在、勝浦市においては市内の公共交通について総合的に定めた計画はない状況であります。現在運行しているデマンドタクシーを導入するにあたり、平成26年に「勝浦市地域公共交通総合連携計画」を策定いたしましたが、計画期間は平成26年度から平成28年度の3年間のものであり、その後は策定されておられません。

そのような状況のなか、人口減少や少子高齢化はさらに進展しており、鉄道や路線バス、タクシーなどの運行サービスについては、民間事業者さまにご努力いただいているものの、運行状況は少しずつ厳しいものになってきております。

また、現在、市では新たな総合計画の策定準備を進めており、そのなかで市民アンケートを実施したところ、公共交通施策は「重要」であるにも関わらず「不満足」であるとの結果が出ております。

このことから地域公共交通については、市民が行政に求める最重要施策であると認識をいたしたところであり、この機会に市民の移動に関するニーズを改めて調査するとともに、勝浦市における公共交通の基本方針を定めるため、地域公共交通計画を策定しようとするものがございます。

前段が長くなりましたが、地域公共交通計画について説明させていただきます。別冊の資料をご覧ください。

まず、「1. 地域公共交通計画とは」でございますが、地域公共交通の活性化及び再生を推進し、地域旅客運送サービスの持続的な提供の確保を目的に策定する計画であり、地域公共交通における最上位計画（マスタープラン）となります。

次に、「2. 計画の法的位置付け」でございますが、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第4条において、「市町村は主体的に地域公共交通の活性化・再生に取り組むように努めなければならない」と明示され、地方公共団体による地域公共交通への積極的な関与が法律の面からも求められています。また、第5条において地域公共交通計画が定義されております。

令和2年11月の法改正により、地域公共交通計画の作成が努力義務化されたほか、計画対象としてバス・タクシーなどの公共交通を中心に地域の輸送資源（福祉輸送、スクールバス等）を総動員する計画とすることが可能となるとともに、定量的な目標設定や毎年度の評価等によりPDCAを実施することが位置づけられました。

同じく法改正により、今後、国から予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）等の運行費補助金の交付を受ける場合には、新たに策定する地域公共交通計画において、当該運行事業の必要性等を記載する必要があります。計画を策定しないと運行費補助がもらえないということでございます。

次に「3. 地域公共交通計画の記載事項」についてでございます。（1）法定記載事項（記

載が必須な項目)のうち、「①基本的な方針」として、地域が目指すべき将来像とともに、その中で公共交通が果たすべき役割を明確化した上で、取組の方向性について記載します。

「②区域」として、住民の通勤、通学、買い物といった日常生活に関して形成される交通圏を基本として設定する必要があります。勝浦市全域を予定しております。

「③目標」として、定量的な目標(利用者数、収支、行政負担額等)を設定し、データに基づくPDCAを強化することが求められます。

「④目標を達成するために行う事業及びその実施主体」として、地域における公共交通サービスの全体像を明記し、それぞれの交通モードや路線等ごとの事業・実施主体を具体的に記載します。

「⑤達成状況の評価」として、事業実施後、設定した具体的な目標を基に、各種事業の実施状況を適切に管理(PDCA)できるよう、評価手法を設定することが求められます。

「⑥計画期間」としては、原則5年程度となっておりますので、令和5年度からの5年間とすることを想定しております。

(2)可能な限り記載することが望ましい事項として、「①資金の確保に関する事項」「②都市機能の増進に必要な施設の立地適正化に関する施策との連携に関する事項」「③観光の振興に関する施策との連携に関する事項」「④地域旅客サービスの持続可能な提供の確保に際し配慮すべき事項」となっております。

次に「4. 計画策定における留意点」でございます。(1)地域課題が的確に把握されているか、(2)都市計画等との調和が保たれているか、(3)関係者との協議がなされたものであるか、留意事項として掲げられております。

次に「5. 計画策定スケジュール」でございます。令和3年11月に計画策定について説明・審議、本日の会議でございます。ここからは予定となりますが、令和4年3月に計画策定に係る業務内容、委託事業者の選定要領等の審議・決定のための協議会を開催します。令和4年4月にコンサルタント事業者からの提案募集、令和4年5月に委託事業者選定のためのプロポーザル審査、令和4年6月に委託事業者との業務委託契約の締結を予定しております。

その後、地域データの収集、地域課題の把握・分析、計画案の作成などの事業に着手することになりますが、この中には市民へのアンケートや交通事業者へのヒアリングなども含まれておりますので、ご協力をお願いします。

そして、令和5年1月に計画案の審議、パブリックコメント手続きを行い、令和5年3月に計画の最終案を審議し、決定したいと考えております。

次に「6. 域公共交通計画策定に係る事業費」についてでございます。計画策定には、地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用する予定です。この補助金の交付対象が法定協議会となっておりますので、本協議会が主体となり計画を策定することとなります。

事業費は今のところ700万円程度を予定しております。ちなみに、いすみ市では本年度にこの計画の策定業務を行っており、その事業費は700万円弱でありましたので、これを参考にさせていただいております。

補助金の補助率は1/2で、補助金を除いた額を勝浦市が負担することとなりますが、市といたしましては、令和4年度当初予算に計上し要求していきたいと考えております。

説明は以上でございますが、令和4年度において勝浦市における地域公共交通計画を策定することについて、ご審議いただければと思います。よろしくお願いします。

(会長・竹下)

はい、ありがとうございます。

ただ今、事務局より「地域公共交通計画の策定について」説明がありましたけれども、何かご意見、ご質問等あったらお願いいたします。

(成田委員)

千葉県バス協会の成田でございます。ただいま事務局の方の説明伺いまして、勝浦市でも地域公共交通計画を策定されるということで非常に重要に考えてるということで、バス事業から言ってもですね、この計画の策定についてもですね、重要なことだと思っておりますので、ぜひ、よろしくお願いいたしますとともに、バス事業からもですね様々な点で協力できることがあれば、させていただきたいと思っております。

今、ご説明の中で若干、意見という形で聞いていただければと思います。また、質問もちょっとあるんですけど、計画については、非常に今まで地域公共交通総合連携計画も策定されて、十分計画的な活動されてるということで、今回、地域公共交通計画となりますと、対象がですね、少し、前の計画よりも広がるのかなというところがあります。そういう意味で今後、この計画の策定に際して、どういう風に進めていくっていうのが重要になってまいります。現時点では、来年の3月にこの協議会があって、ある程度、事務局の方から、計画の青写真、計画をどういう風に作るかご説明があるということなんですが、今日は11月で、あと3か月、かなりハードじゃないかと思われまので、そういう点で、ちょっと聞いていただければと思います。

まず、冒頭、ページめくりますと区域というのがございまして、勝浦市全域を予定されるということで、これはもちろんなんですが、このバス路線で言いますと、市外から来る路線もございまして。そうした市域に、市の中の市民が使う利用としては、市外から来る交通機関例えばJR線の外房線なんかもですね、市の外から来て、また市の外に出ていくと、こういうことで勝浦市全域を予定するが、その市外と結ばれる交通もある程度、この計画では触れていくのかどうか、この辺を触れないと、通勤通学の日常に関する計画の交通圏という考え方で、現実には即したものではないかと思われまので、もし市域の中だけで限定して時間がないので、そういう風にしたいということであれば、あらかじめこの会議の中でお話をいただいたほうが、委員の方もですね、この市の中だけなのか、それとも基本はJR線もないとですね、バスとタクシーだけでは通勤通学は、なかなか計画として難しいのかなと思いましたので、ここはまず、意見と質問という風になります。

それからあの、あわせて4点ほどいいですか。計画期間として、原則5年程度ってことで、たぶん、いろいろな自治体でも使えるような形で書かれてるんですが、今日は協議会ですので基本的な方向性は事務局でお示しいただいたほうが、3月の会議でもう決めちゃいますから、いいのかなと。それで、ここは意見なんですけど、連携計画は3年でした。今回、勝浦市ではこの5年にこだわるのか、柔軟な設定も可能って書いてますから、私は3年でいいと思います。意見としては。ただ、次のページの(2)にまいります、都市計画などとの調和が保たれているのかということがあって、勝浦市ですね、総合計画もしくはここに掲げられた計画の目標の年限に合わせて5年にするのか、まあ5年にすれば、3年、4年とあるんですけど、考え方は、今日は別にここで決めなくていいんですけど、考え方とすると原則5年程度、柔軟な設定で、どのくらいの年限でやっていきたいというのは事務局から今日、決めなくてもいいんですけど、おっしゃっていただいたほうが、あとはお任せですねってなると思うので、それが2点目です。

それから、3点目はですね、右ページの都市計画等の調和が保たれるかということで、ここで列記されているのが、すべて勝浦市にあるとは私は思っておりません。すでにもう事

務局では把握してると思うんですけど、例えば、港湾計画ってのはあるのかどうかとか、なければ別によろしいですし、立地適正化計画っていうのも策定されていらっしやって、これとも調和を図る、まあこれは全部フルセットでこう書かれてますけど勝浦市ではどれが対象になるのかっていうのが、もしお分かりになればお話を頂けるとありがたいと思ってます。

それからあの、事業費の話がですね700万円程度ということで、調査会社、非常にデータの集計とか専門的なので、コンサルタント事業者への委託というのは通常やっておりますから、全くそれについては私も賛成なんですけど、事業費となってスケジュールを見ると、今年度のもう11月から、明日からもう始まるんですけど、考え方は、この700万円っていうのは来年度の方だけなのか、それとも今年度の分も含めて700万円なのか、その辺はあの、このスケジュール見ると今日から始まるようになってるんですけど、実際のスケジュールで作業は今年と来年度と、まあこの考え方もお示しいただければ委員の方は大変参考になるんじゃないかと。

最後はですね、恐縮なんですけど、地域公共交通計画ということで、連携計画と違うのは、非常に範囲が広がって、なおかつ観光の振興に関する施策との連携とかですね、こう入ってきてるわけなんです。今日拝見している地域公共交通活性化、勝浦市の協議会の委員名簿を拝見しまして、この辺でですね、鉄道、バス、タクシーの皆さん、入られてるんですけど、観光の関係の方とか、今後、この委員の中に入っていただくのかどうか、この辺何か協議会ですね、委員構成について、新しい計画を策定するにあたって、委員の構成に追加して入っていただく方がいるのかどうか、この辺について、まあ、最後の点なんですけどすみません。

(会長・竹下)

ありがとうございます。ただいまの質問またご意見につきまして事務局の方からお願いします。

(事務局・渡邊)

区域の話があったかと思います。これについては確かに隣接する大多喜町だとか、御宿町との路線バスの接続がございます。それからJR線なんかは当然、南北ありますので接続がございすけれども、策定する区域という考え方の中では勝浦市に限定したものにしたいた。当然、公共交通機関としてはつながりがあるので、そういった文言は取り込んでいこうとは思いますが、計画の区域っていうのは勝浦市という形にしたいと思っております。

それから、計画期間の5年程度の話ですけれども、委員おっしゃられたとおり柔軟的な対応は可能であれば、説明の中でもお伝えしたんですが、新しい総合計画を同じく令和5年度から始まりまして、基本計画が4年ごとの3スパンでありますので、これに合わせて計画期間を4年とか、そういったことも今後検討させていただければと思います。

他の計画との調和という話もありましたけれども、おっしゃられる通り、ここには一応説明されているものは全部列記してしまいましたが、勝浦市の場合は、私の知識の中では、都市計画マスタープランはあるのと、それ以外については私はちょっと知識がないので、最低でも都市計画マスタープランとの整合を図っていかなければと考えております。

計画期間の話、ちょっと戻っちゃうんですけど、計画期間に関わらず必要な見直しをしていく必要があるんだろうなと、例えば、他の計画との整合が取れなくなったような場合は、



毎年、見直しをかけていくとか、そういった作業は必要になるだろうと考えております。

それから事業費の話ですが、私の方の説明が漏れておりましたが、この700万円程度というのはコンサル事業者への委託料という形での700万円というふうに考えておりますので、これは令和4年度の国の補助金を活用しようと思っておりますので、令和4年度の実業費というように考えております。それまでの準備に係る作業は事務局の方でやりますので経費は掛からないというように考えております。

それから5番目の観光関連の関係者の協議会への参画という話でしたけれども、この公共交通計画を策定するにあたっていろいろな方の意見を聞きなさいと、その中で、国の方で、手引きの方では委員の構成の見直しも考えなさいというようなことが書いてありますので、見直すかどうかは分かりませんが、検討はしていきたいと。当然ながら計画を作る際には入っていただき、いろいろな話は聞きたいと考えております。以上でございます。

(成田委員)

大変分かりやすい説明で理解しました。ありがとうございます。結構です。

(会長・竹下)

他に何かご意見、ご質問等あったらお願いいたします。

よろしいでしょうか。忌憚ないご意見伺いたいと思いますので。遠慮なく。

(櫻井委員代理)

千葉県の櫻井と申します。先ほどご説明いただいた計画策定スケジュールの令和4年の3月にこちらの協議会で仕様書ですとか、プロポーザルの要領とかの審議・決定をされる予定ということで、いつもこちらの会議、会議資料をこの場、当日に確認をさせていただいてご説明していただくと思うんですが、仕様書ですとか要領ってなりますと、結構細かい内容になってくると思うので、できれば事前に郵送なりしていただいて、細かく確認をさせていただければありがたいなと思うんですが、そういったことは予定されてますでしょうか。

(事務局・渡邊)

ご意見のとおり、事前に準備をして、送らせていただこうと思います。よろしく願いいたします。

(櫻井委員代理)

ありがとうございます。

(会長・竹下)

よろしいでしょうか。ほかに何かございますでしょうか。よろしいですか。それでは、ないようでございますので、お諮りいたします。

「勝浦市地域公共交通計画の策定について」ご異議はありませんでしょうか。

異議なしと認めまして、「勝浦市地域公共交通計画の策定について」は、承認されました。これにて記載の議題については終了いたします。

次にその他として、何かございますでしょうか。

(事務局・渡邊)

事務局より1点ご報告がございます。9月17日付で市内の市野川区の区長様より「通院のための公共交通機関拡充に関する要望書」が市長宛に提出されており、その内容及び対応等について説明させていただきます。

内容は公共交通の縮小により高齢者、体が不自由な方の通院などの移動が大きな負担となっており、具体的には鴨川市の亀田病院へ通院する際に、乗り継ぎ等により時間的、身体的な負担が少なく、料金も安価な「乗合タクシー」のような交通手段が望まれるとの要望でございます。

これに対しまして、行政にて「乗合タクシー」を運行するのは難しく、今後、地域公共交通計画の策定を検討していることから、この中で地域の実情やニーズを把握し、交通事業者との協議の上、効果的な公共交通体系の整備に努めてまいりたいとの回答をいたしました。以上でございます。

(会長・竹下)

ほかにございますか。

(長田委員)

高齢者支援課の長田と申します。私の方からは令和3年度高齢者タクシー利用助成事業というものをやっていますので、その概要、実績について報告させていただきます。また、これに基づきまして、令和4年度をどうするかということをご検討してまいりたいと考えております。

まず、勝浦市の高齢者タクシー事業につきましては、対象者が80歳以上の高齢者、それと75歳以上の免許返納者、この者につきまして1枚800円、年間で12枚9,600円の高齢者タクシー利用助成券を配布しているところでございます。これは申請に基づいて配布をしております。予算額としましては、対象となる高齢者の人数2,580名の40%ということで総額1,050万円を予算計上しているところでございます。実際に対象者2,580人の中で申請者数は630人、24.42%ということでございます。実利用者数については451名、69.71%。申請したものについては7割の方が利用しています。10月30日現在で利用枚数は3,200枚でございます。この金額につきましては2,547,390円。まだ4分の1しか使われていないということです。交付したすべてを利用した場合については594万円、約600万円のものが使えるということです。

勝浦市につきましては4地区に分かれておりまして、勝浦、興津、上野、総野というような形の地域を分けて分析をしているところでございます。この対象者数につきましては2580人を各地区で割りますと、勝浦地区が約45%、興津が25%、上野が13%、総野が16%。上野と総野で約3割、興津で2.5割、勝浦で4.5割というような配分でございます。利用状況につきましては、勝浦地区が76.36%、興津地区が61.54%、上野地区が45.71%、総野地区が52.17%。やはり勝浦地区の利用が最も多いということが分かります。

次に、こういった移動に使ってるかというのを分析しますと、各地区から塩田病院、あるいは勝浦整形、越後貫病院、これらに通院をしているものが多い。特に80歳以上について多いような分析でございます。通院の後にハヤシ、ベイシアなどで買い物をして帰る、このパターンが80歳以上の老人、やはり病院に通院する方は多い。総野につきましては、診療所がございしますが、やはり塩田病院、あとは勝浦整形ですね、帰りには買い物をして帰るというような方が多いと分析をしているところでございます。

令和3年度からこの券につきましては単票でも使えますし、複数でも使えるということにしました。この分析をしますと、勝浦地区は単票での使用が87%、興津地区は42%、上野地区が13%、総野地区が14%。総野地区についての複数使用は85%、上野地区は86%。

これを改善するためには公共交通でこの券を利用しやすいようにすべきではないかと今ちょっと分析をしているところでございます。具体的には一つは、上野地区につきましてはデマンドタクシーが走っておりますので、これにこのタクシー券が使えるようにすれば、またこの利用も増えるのではないかと。また、10月30日現在で12枚使ってる方の数値で申しますと、勝浦地区で21.98%、興津で17.05%、上野地区で25%、総野地区については33.33%と、総野地区で12枚を使ってる方が多いということでございます。総野地区につきましては、さらに助成券を交付することによってある程度外出とか公共交通を使う機会が増えるのではないかとということがございます。また、上野地区につきましても同様のことが言えますけど、上野地区はデマンドタクシーが走っているということでもありますので、この券をデマンドタクシーにも使えないかというような考えで今800円券ということでございますが、これを400円にしてデマンドタクシーにも対応していければというような形で考えております。現在の状況を私の方で報告させていただきました。以上でございます。

(会長・竹下)

ただいま、高齢者タクシー利用助成券について説明があったわけですが、これについては利用の分析結果について報告があったという風に感じておるんですけれども、資料を委員の皆さんに配るってことしないわけ？その結果について、言葉で説明されてもね。ここまで説明されちゃうとかなり興味を持つ方がいると思うんだ。それを単なる報告で終わりにしちゃうといかがなもんかなと。私自身は思ったんだけど。その辺いかがですか。

(成田委員)

分析もされていて、素晴らしいことだと思うんですよ。もし傾向で、お結構なんですけどね、デマンドの利用者アンケートの中で割とご家族にも車がない、誰も運転する人がいないって方にデマンドタクシーを使う方が多いんですよ。それで今のご説明の中で、まあ地区ごとに利用がこうたくさんあったりなかったりと伺って。タクシー助成事業だと、車があろうかなかろうが券があれば乗るわけですよ。気兼ねなく乗れるということで。利用が高い地区なんかでも、ご自宅に車のあるなし、運転できる方のいるなしっていうのは、そういう傾向は把握されているのかどうか、ちょっとわかればと思ったんですけれども。

(長田委員)

そこまではしていませんが、実はこれをですね、使われた曜日ごとに分析をしています。全体的なんですけれども、曜日で一番多いのが金曜日、これが21.75%、2番目としましては月曜日が18.5%、火曜日が17.41%と。金・月・火なんです。日曜日につきましては病院がやってないということで、日曜日については3.97%と非常に少ないです。ということは家庭に車があっても送ってもらうとか、買い物だけだとかこの券は使っていないのかなということがありますが、月・火・金が多いってことにつきましては、老人が一人で病院に行きますよ。となってくると車を持っていますけど、みんな通勤してまして、日中になりますと車を運転する人がいないんだと。そういうような分析もございまして、程度この使い道っていうのが一番最初にも申し上げましたけれども、病院に高齢者が行って、

帰ってくるんだという推測はできるかということでございます。

（成田委員）

分かりました。ありがとうございます。

（長田委員）

なお、男女別もですねやっていますけれども、男女別で、女については76%、男につきましては23%っていう状況でございます。

（会長・竹下）

それでは、今、利用状況の分析結果について配布させていただきましたので、また、これをもとにですね、今後、いろんなご意見等があればお伺いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。そのほかに何かございますでしょうか。

（古川委員）

貴重な時間いただきましてありがとうございます。エミタスタクシー南総の古川といいます。日頃からご理解、またご協力いただきまして大変ありがとうございます。皆様の机の上にカラー塗りのですねジャンボタクシーというチラシを配布させていただいておりますので、それをご覧いただきたいと思います。着座にてお話させていただきます。今回ですね、地元の方はご存じのとおり、勝浦タクシーから2年前に今のエミタスタクシー南総株式会社っていうことで名前を変えさせていただいて、新生エミタスということで出発しております。その中でですね、やはりお客様がコロナの関係で非常に駅から降りられる方、また、動く方が非常に少ない中ですね、やはり観光客の方も車はジャンボタクシーで何人かで乗れるのなの？というご要望ご質問が何度かありました。その中でですね、本部の方とお話させていただいてですね、今回、写真にも載っておりますが、ジャンボタクシーということでお客様9名、運転手入れて10名という形の車を一台、駅前に置かせていただいております。使い方としては、少ないながらも観光、また、ここにも書いてございますが、冠婚葬祭に使っていただけるということで皆様にご披露させていただいてですね、今後、なにか話があったら、このような車もあるということでお願いできればという風に思います。やはりジャンボタクシーと言いますと私なんかもなんですが、料金が高いのかしらとか言うことがあるかと思うのですが、ちょっと軽くお話させていただきますと、乗車人員は今、お話させてもらったんですが、勝浦はですね、茂原・いすみ地区・大多喜・それと勝浦ということで、外房支部ということでタクシー協会の方から指示されて組んでございます。このB地区というんですが、B地区の料金っていうのがまた決まっております、まずみなさん乗っていただいたことがあると思いますが、タクシーですと、一般乗用車ですと初乗りがですね、去年2月から新料金ということで初乗りが500円となっております。普通のトヨタクラウンなんです。ジャンボになりますと初乗りがですね距離数も同じ距離数なんですけど1.27kmまで560円、60円高くなってくるんですね。たかが60円かと思われる方もいるかと思いますが、使用される人数とかいろいろ考えて割り算させていただきますと、特にですね、ご家族子どもさんが3名という方が私もよく車運転しながら見てますといらっしゃいます。そういった形、祖父祖母が乗りますとやはり5人乗用車じゃ足りないというのがあります。そういった関係でですねジャンボタクシーを用意させていただいてなおかつ加算の料金というがあるんですが、基本の初乗りプラスですね、

加算が一般の乗用車ですと 272m で 100 円ずつ上がっていきます。ジャンボの場合ですと、242m で 100 円ずつ上がる。そういった感じですね、若干は上がるのも多いですけども、人員の割り算でしていただければ安い乗り物かなという風に思われます。ただ、お迎いの料金はどちらとも、どこへ迎えに行っても 300 円と決まっております。ジャンボタクシーを今まで利用していただいた方ですが、まずは武道大学の柔道の方ですかね。やはりコロナで J R に乗るのが怖いという形で 3 名がですね、体のいい方でして、ジャンボタクシーも車体が少し下がるくらいの方だったんですが、東京のスポーツジムに行ってくれということで 3 名の方がご利用いただいています。あとは部原に在住している外国人の方ですね。羽田空港まで行ってくれと。やはりその方は人数は少ないけど荷物を非常に持っています。それでどうしてもジャンボタクシーをご使用というような形ですね。あとは横浜にですね、結婚式で行きたいというような形で、まあ遠くの県外についてはそのくらいですね。あとは近場でね乗っていただく方もいらっしゃいますけどね。まあそういった形で利用されています。ご利用の希望がありましたら是非ともご連絡等いただければと思いますのでよろしくお願いします。どうもありがとうございました。

(会長・竹下)

ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようでございますので、本日の会議はこれをもって閉会といたします。長らくご協議ありがとうございます。

以上